

# 関西協会ニュース

2002 年 3 月 23 日発行 第 31 号

## 緊急！街頭募金！！

平成 14 年 2 月 9 日（土）JR 大阪駅前で骨髄バンク患者支援の街頭募金を行いました。多くの皆様への呼び掛けも不十分な程、慌ただしく企画したのは、（財）骨髄移植推進財団が昨年末から財政危機とそれに伴い患者負担金値上げの措置を取るといふ苦肉の策をマスコミ各社に公表したのを受け、この窮状を一般の方により強く印象付ける為でした。

当日は、極寒の中、当会の運営委員と財団関係者（広報渉外担当部長、コーディネーター、地区普及広報委員等）、小学生の元患者さん、患者家族の方々にご参加いただき、わずかな時間ではありましたが、暖かく心に染みるお言葉と共に 31,928 円が集まり、すべて骨髄移植推進財団の患者支援基金にご寄付させて頂きました。また、読売、大阪日日新聞の事前取材による告知掲載もあり、後日の問合せ等々も含め大きな成果があったと思います。

必要とする全ての患者にドナーが見出せるよう、更に、負担金の為に移植を断念せざるを得ない人がでないようこれまで以上の運動が必要だと実感しました。（報告：福田）

### 街頭募金を体験して

骨髄移植推進財団広報渉外担当部長 矢澤俊昭

昨今の構造的経済不況の中、患者救済のためとはいえ、このお願いを率直に受け止めていただけるだろうかという一抹の不安を胸に駅頭にたちました。

平成 14 年 2 月 9 日（土）この日は木枯らしが吹きさらす寒い日でありました。あの大阪駅東広告塔前で手をこすりながら町行く人々に「患者支援募金にご協力お願いします。」「ドナー登録 30 万人にご協力ください。」「骨髄バンクにご支援をお願いします。」等と関西骨髄バンク推進協議会の皆様とともに声を掛けチラシ配りをいたしました。我々の熱意が伝わり多くの方が「頑張ってください。」と浄財をご寄付してくれました。大阪の方々の暖かいお心に触れ、これぞ骨髄バンク運動の原点かなと深い感銘を受けた次第です。

ややもすると机上でのプラン、会議での議論が先行し実行が伴わないことが多いなか、今回のこの街頭募金はすばらしい意味を持つものと思います。

今は目標額 1 億円が点にしか見えませんが皆様方のご支援を賜りながら確実な太い線になるよう職員一同日々邁進していく所存です。

そして一人でも多くの患者さんが安心して骨髄移植治療が受けられるようサポートしたいと思っています。重ねてご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 母子医療センターへセレッソ大阪の選手慰問&チャリティバザー開催

2月19日(火)の午後より大阪府立母子保健総合医療センター(和泉市)の入院患児達と楽しい一時を過ごそうとセレッソ大阪の新戦力、羽地登志晃・斎藤竜・伊藤仁・御給匠各選手達とチームキャラクターのロビー君がやって来ました。

「ようこそ！大阪セレッソ！！」と子供達が大書した垂れ幕もロビーに高々と掲げられこの時を待つ皆さんの楽しみはいかばかりかと感じました。OB選手の梶野智幸氏も駆けつけ、根っからのサッカーファンのドクターや付き添いのママ達も熱烈大歓迎。

ロビー君もずっと一緒に病棟訪問も「握手攻め、抱っこ攻め」でアツという間に時間が経っていきます。1階アトリウム(ロビー)では、バザーもお店開きが始まり、お馴染みの貴志真由子さん(移植をした患者さん)作の「真由ちゃんネズミ」を始め、いつものように患者さん達ゆかりの方々の手作り品や大阪東淀ロータリークラブご提供のクッキーが大好評です。いよいよ交流会が始まると、まるでサッカー場の雰囲気再現するような看護婦さんのエレクトーン演奏に思わずダンスステップをする子。ゲームやクイズでセレッソご提供のTシャツやステッカーをゲットし、思わずガッツポーズをする子、ドクターもここぞとばかりにシュートゲームに挑戦し、サポータ達の声援に応えています。

点滴がついていても、車椅子に乗っていても、移動ベッド越しの握手でもここにいるみんなは、長居スタジアムにいるような熱狂ぶりでした。そして、誰よりも乗っていたのは、日頃付き添っているお母さん、お父さん達ご家族かもしれません。

ここ母子医療センターでは、過去に普及啓発映画「金色のクジラ」の鑑賞会、ジャン・モヌレ画伯(フランス：レジョン・ド・ヌール勲章受賞画家)との「みんなでお絵描き会」、そして今回のセレッソの「院内慰問」と3回目の取組です。会を重ねる毎に盛りだくさんのプログラムとなり、院内の皆様のご協力も絶大で、職員の方々をはじめ関係者の皆様もボランティアとして大いなる汗をかいていただきました。ご協力いただいた皆さん共々、思い出に残るひとときでした。(報告：新名)

### 事務局よりお願い

今回のバザーや、後述の囲碁大会における展示即売会で、ボランティアの方の手作り品がたいへんご好評を戴いております。ご多忙だったり遠方だったり療養中だったり、通常のボランティア活動に参加できないけれど、手芸なら好きだからこういう活動なら参加できるかも、というような方がいらっしゃいましたら、事務局までご一報下さい。お待ちしております。

また、今後フリーマーケットなども定期的開催する予定です。ご自宅に遊休品がありましたらご提供下さい。ただ、申し訳ありませんが新品同様のものに限らせていただきます。収益は骨髄バンクの患者支援事業基金に寄付する予定です。

売る方も買う方も楽しみながら、みんなで財政危機の骨髄バンクを支援していきませんか?!

**骨髄バンク支援チャリティー囲碁大会が開催されました**

関西骨髄バンク推進協会 会長 正岡 徹

2002年1月20日骨髄バンク支援チャリティー囲碁大会が新設の大阪府立健康科学センターと隣の成人病センターで行われました。健康科学であれば碁は老人の健康保持に大いに役立つているぜなどと話しているのってきいていろいろ書類を上の人にあげてもらって実行が決まってしまうました。健康科学センターの増本所長はその書類をみて骨髄バンクと碁碁という陰の人物がちらちらするなーと笑っていたそうでした。碁会は骨髄バンク支援の黄色のたすきがあったのでこれを2本かけて負けたら1本を相手に渡す、たすきの数に応じて賞品をあげる、などと決めました。碁をうてばボケが治るという講演を静岡県西部浜松医療センターの金子満雄先生にお願いしました。賞品はコニシの森本社長のご好意でかなり大量にいただきましたが、ライフフーズの清水社長、日経アイデスの植村社長などからも申し出があり住友製薬のご援助もあって、全勝から全敗まで賞品が用意できました。

金子先生の講演は圧巻でした。右脳は芸術、スポーツ、ゲーム、感動、愛などを司る。左脳は言語、計算、仕事などが役目であって、特に右脳は若い内に鍛えておくことが必要で、小学校の間は勉強などよりも右脳の訓練で愛、感動を体験させることが重要で、これがちゃんとしていないと自己中心的な人格ができ、定年後にすぐボケルようになる。脳卒中でも左脳がやられると失語症となるが、これは昔碁を打ったことがあると判ると半分はなおったも同然、碁によって生き生きとなり、生活に意欲もでてくる。一方右脳が破壊されると失碁症となってこれは扱いにくい。などと実際の患者さんをみた経験から明快に話され、一同魅了されました。我々が碁をうつのは自分のためにも、家族のためにも、またお国のためにもなっている、これからもへボ碁を打ちつづけねばならぬと覚悟を新たにした次第です。解説、指導碁、各自の個別対局と盛りだくさんで無事5時過ぎ終了しました。中川和雄元大阪府知事、武内正康住友製薬会長、小松健男関西棋院理事長をはじめ多くの名士、腕自慢、へボ碁自慢の方々にも来ていただきました。有名人書画の展示即売会も好調で我々から見ると少し作者に失礼かと思われるような安い値段で多くの方に買っていただきました。骨髄バンクにも御蔭様でかなりの寄付ができました。これからまた工夫して年1回ぐらいはチャリティー碁会をやっていきたいと思えます。書画を寄付していただいた名士の方々、梁山泊、碁苦楽会、高崎会、大阪府医師会碁碁クラブ、輝星会、大阪府立母子センター、成人病センター、健康科学センターその他ご参加の皆さんどうも有難うございました。

正岡会長の報告の通り、日本棋院関西総本部・関西棋院の全面のご協力のもと、碁碁大会を開催することができました。当日は70名の腕自慢にご参集いただき、基調講演の後、棋譜解説・上達講座・指導碁・碁会などを楽しんでいらっしゃいました。日本棋院からは川村匡迪七段・岩丸平三段、関西棋院からは清成哲也九段・宮本義久九段・白石裕九段・今村俊也九段・湯川光久九段がお見えになり、各講座の解説や指導碁などをボランティアでお引き受け頂きました。

当日お越しになれないプロ棋士の先生にも色紙等のご提供をいただき、他に名古屋第一赤十字病院の小寺良尚先生(筆名:林波汲‘りん・ぱきゅー’)や阪大名誉教授の和田博先生、醍醐寺の麻生文雄門跡を始めとする骨髄バンクゆかりの各界名士ご出品による書画展示会、その上お馴染み神山清子さんの信楽焼・貴志真由子さんのネズミ・甲斐志帆さんのトンボ玉などの即売会の売上と、当日の参加費・ご寄付などから、骨髄移植推進財団の患者支援事業へ500,000円の寄付をすることができました。皆さん本当にありがとうございました。

なお、当日の様子は日本棋院のホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~osakaigo/topics3.html> にも掲載されています。現場の雰囲気伝わってきますので、ぜひご覧下さい。

### 骨髄バンクチャリティコンサート開催

2001年12月1日(土)、豊中市アクア文化ホールにおいて「ステージで歌いませんか あなたの優しさを」のサブタイトルで、財政が逼迫している骨髄バンクを支援するコンサートが開催されました。

大阪音楽大学声楽科卒業の有志が組織するレディースコーラス「幸」と、地元のママさんコーラスのメンバーが織りなすハーモニーに生バンドのトリオが奏でるバックミュージックが文字通り「人の優しさ」を感じさせられた一夜でした。豊中市在住のドナーを待つ患者さん 中井耀君(3歳・ムコ多糖症)は、ママに抱かれて立派に骨髄バンクのアピールをして見せました。また、このコンサートのきっかけを作ってくださった富田林市在住の患者さんご夫妻も客席で熱いエールを送っていました。

朝日放送往年の名アナウンサー玉井孝氏の名調子のもと、小学唱歌「月の砂漠」に始まり、70年代の流行歌「なごり雪」「神田川」などのイントロが始まると、舞台も客席も一体となり大合唱となりました。ラストの「明日があるさ」にコンサートが最高潮を迎えると、耀君も飛び入りでコーラスに参加し、この夜に集う皆一同が1日も早いドナーとのマッチングを心より祈りました。

なお、この日の収益金より15万円を骨髄移植推進財団(骨髄バンク)へ寄付していただきました。

(報告：新名)

中井耀君はその後引き続き骨髄バンクのPRに大活躍中です。3月24日に開催された豊中市内での休日登録会は、実は耀君とママ、そして保育所のお母さん仲間や先生方が企画して出来たもの。ケーブルテレビ・新聞の取材にと小さい体で大忙しです。あるお母さんは、耀君のママにこう言ったそうです。「提供のための4日の入院は、もうひとり子供を産むと思えば家族の協力が得られる。私のもうひとりの子供だと思って誰かのためになれば。」

耀君に、そして待っている人みんなにドナーが見つかるよう、頑張っていきましょう。(報告：那須)

### 滋賀県で骨髄移植シンポジウム開催

去る1月30日(水)、滋賀県大津市の「ピアザ淡海」にて、「あなたの協力で助かる命があります」というテーマのもと、骨髄移植シンポジウムが開催されました。

まず滋賀医科大学の井上徹也先生から「骨髄移植とは～造血幹細胞移植の現状～」のタイトルで基調講演があり、その後井上先生をコーディネイターに、「生命のボランティア～人から人への生命の贈りもの」のシンポジウムが展開されました。当日、パネリストのひとりとして参加した滋賀骨髄献血の和を広げる会の神山清子さんから報告と感想が届いていますので、以下に掲載します。

1月30日、骨髄移植シンポジウムが滋賀県で開催された。パネリストは骨髄提供者・移植経験者と私が並び、いよいよ患者さん(移植経験者)の発言が始まった。

「病名が告げられ、死ぬかと思った。ドナーが見つかり、移植を受け、生きることができた事、感謝しています。」と語られた。その言葉は幾度もとぎれた。青白い顔に涙が流れ、唇が震えていた。一瞬私は、息子が横にいと錯覚して、どっと涙がこみ上げ、頭が空白と化し、会場を見た。皆さんも泣いておられた。

前日私が用意した発言文章は涙で消され、不発に終わった。が、骨髄移植の必要性とこの感動を精一杯伝えたいつもりである。

退場者の声を耳にした。「いいシンポジウムだったね。」

息子を亡くして10年が過ぎ、患者の悲しみ・家族の涙を背に骨髄バンクにたずさわってきた。今回のように、短い時間ではあったが、幻の息子の顔を見ることができたこと、たいへん感謝しています。

### お詫びと訂正

前号(第30号)4ページ掲載の「骨髄バンクチャリティゴルフ大会」記事において、第3位 宮下眞一郎氏とニアピン賞 加藤晋吾氏の所属は「福知山東ロータリークラブ」となっていますが、お二方とも「福知山東ライオンズクラブ」の誤りでした。ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。

なお、骨髄バンクチャリティゴルフ大会実行委員会より、骨髄移植推進財団の患者支援事業に、449,153円の寄付をすることができました。本当にありがとうございました。

## 各地の登録会便り～3/3 奈良登録会～

うららかな春の陽さしを受けて満開の梅の香が薫る 3 月 3 日（日）大和郡山市筒井町にある奈良県骨髄データセンターにおいて、奈良県と骨髄移植推進財団主催の集団登録会が開催されました。この集団登録会は、奈良県骨髄データセンターの場所と仕事を県民の皆さんに知って欲しいという思いもあって、県では今後とも毎年この登録会を恒例にしていきたいと考えております。

今回は、県とボランティアによる事前啓発により、18 名の予約がありました。また当日は、併催イベントとして隣接する大和郡山市南部公民館において、奈良骨髄献血の和を広げる会による啓発映画「いのちのあさがお」の上映や、骨髄提供ドナー 山村詔一郎氏と、骨髄移植を受けた患者さん 奥村容子氏とのフリートークが行われました。結果、受付 23 名のうち 21 名の方に登録していただくことができました。

今回登録していただいた皆さんは、「チャンス」を十分理解されている方が多く、登録後のアンケートにも色々なご意見を頂き、皆さんの骨髄移植に対する意識の高さに感心させられました。年齢も 20 代から 30 代の方が多かったのも嬉しく思いました。中には、「10cc の採血で登録ができることを知らないで、登録の際も痛い思いをするのではないかと怖がっている人も多いので、私も積極的に言いますから、皆さんももっと登録の仕方をアピールしてってください。」と力強いお言葉も掛けていただきました。また、多少お待ち頂くこともあったのですが、不満を訴える方もなく、皆さん静かにお待ちいただき、崇高な厳粛さを感じた 1 日でした。

奈良県各地からおいでいただいた皆さん、本当にありがとうございました。今後、遠くまで行きにくいという方の為にも、奈良県各地で登録会を開催していきたいと思っておりますので、ご協力の程どうぞ宜しくお願いいたします。（報告：藤原）

本日の参加者の中に、以前小学校で「いのちのあさがお」の映画を見たよ!!と言う方がおられました。他地区での開催にもかかわらずこうして再度参加して下さった方々、そしてまた、今回新たに参加して下さった方に感謝いたします。

小人数での開催であったので、マンツーマンなお話ができ、より身近に感じていただけたものと思っています。こうした小さなイベントではありますが、草の根運動的に幅広く活動してまいりたいと思います。

（奈良骨髄献血の和を広げる会 山村詔一郎）

## ドナー登録会の報告と予定

12 月～3 月 当協会・加盟団体関係分

年	月	日	曜	形態	県	市	会場	登録
13	12	9	日	集団登録	大阪府	大阪市	阪急グランドビル	46
		16	日	集団登録	和歌山県	御坊市	御坊保健所	5
		21	金	献血併行	京都府	京都市	ぱるるプラザ	5
14	1	18	金	職域・献血	大阪府	大阪市	伊藤忠ビル	1
		20	日	集団登録	和歌山県	新宮市	新宮保健所	8
		20	日	集団登録	滋賀県	栗東市	ウイングプラザ	30
		27	日	集団登録	和歌山県	岩出町	クオリティーライフフェスタ会	7
		28	月	献血併行	京都府	福知山市	福知山振興局	0
	2	20	水	献血併行	京都府	福知山市	福知山郵便局	4
	2	24	日	集団登録	和歌山県	湯浅町	湯浅保健所	15
	3	3	日	集団登録	奈良県	大和郡山市	奈良県骨髄データセンター	21
	3	10	日	集団登録	和歌山県	橋本市	橋本体育館	13
		24	日	集団登録	和歌山県	美里町	健康まつり会場	
		24	日	集団登録	大阪府	豊中市	すてっぷ	

今さらながら...日本骨髄バンク 10 周年のあゆみ

1991 年 12 月	財団法人骨髄移植推進財団発足 公的骨髄バンク（以下日本骨髄バンク）事業開始
1992 年 1 月 6 月	日本赤十字社「骨髄データセンター」設置 骨髄提供希望者（ドナー）登録受付開始・検査開始 患者登録受付開始
1993 年 1 月 2 月	日本骨髄バンクによる骨髄移植第 1 例の実施 骨髄バンクキャンペーンダイヤル（関西地区）設置 中堀由希子さんの CM が話題になる
1994 年 5 月 10 月	ドナー登録者 5 万人達成 全国の保健所（100 箇所）で骨髄提供希望者登録受付の開始
1997 年 1 月 4 月 9 月 10 月	日本骨髄バンクによる骨髄移植、1000 例達成 骨髄ドナー登録時に 1 次・2 次検査を同時実施 日本骨髄バンクと NMDP（全米骨髄バンク）の間で国際提携 日本骨髄バンクと TCTMDR（台湾骨髄バンク）が国際提携 国際協力（NMDP から）による骨髄移植第 1 例を実施 アジア太平洋骨髄バンクフォーラム兵庫県にて開催 韓国との国際提携の足がかりとなる
1998 年 4 月 6 月 8 月	BMDW（世界骨髄バンクドナーHLA データ集計システム）に参加 HLA 照合サービス開始 TCTMDR（台湾骨髄バンク）から初の骨髄提供 ドナー登録者 10 万人達成（8 月 13 日）
1999 年 1 月 5 月	「HLA1 座不一致・患者登録年齢・病期」等、移植適応条件を拡大 日本骨髄バンクによる骨髄移植、2000 例達成 日本骨髄バンクと KMDP（韓国骨髄バンク）が国際提携
2000 年 11 月	日本骨髄バンクによる骨髄移植、3000 例達成
2001 年 1 月 8 月 9 月	コーディネイトのコンピュータシステム本格稼働 移動献血会場でのドナー登録受付、全国展開へ 米国同時多発テロにより、NMDP からの骨髄搬送にチャーター機利用

日本骨髄バンク骨髄提供登録者（ドナー）・骨髄移植希望者登録状況（2002 年 1 月末）

	全国	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
ドナー登録数	149049	22671	1566	4041	9210	5498	1447	909
移植希望患者登録数	1679	234	15	31	111	47	13	17

\*\*\*\*\*

ある妊婦のぼやき

ちょうど 3 年前の今ごろ、第 1 子を出産した。  
分娩室からでるとき、たまたま壁に貼ってあった火葬申請書に自分の名前があってびっくり。  
頬をつねったらちゃんと痛いし、子供は少し先の新生児室にある保育器の中でムズムズしている。  
なぜ？と思ってよくよく見るとそこには「胎盤」の文字。胎盤が火葬になるなんてその時初めて知った。  
それまでさい帯血のことは何となく知っていて、できれば協力したいと思っていたけれど、提供施設が実家の周りになく、仕方がないと思って諦めていた。でも、でも。火葬になるなんて!!  
人より大きい胎盤に恵まれた私、細胞数も充分かどうかはわからないけれど、自分も子供も幸い経過は順調だ。  
次の機会があれば必ずと心に決めた。  
そして今がその「次の機会」である。骨髄バンクについてもさい帯血についても 3 年前よりは知識を得た。  
国によってネットワーク化され充実した「さい帯血バンク」に提供するべく調べ始めたら、自分の周りにおいては何も変わっていないことが分かった。生活圏内に提供できる施設がないのだ。実家の周りにも。  
妊娠したら出産後 1 年経つまで骨髄の提供は出来ない。その間にできる、さい帯血の提供。妊婦も子供も痛くも痒くもないのだ。栄養たっぷり、可能性十分。骨髄バンクとさい帯血バンク、補い合って両方がうまく回っていけばいいと思うのに。意欲のあるところが拾えないのはどちらも同じか？  
提供可能な方、さい帯血についてご一考を。 <http://www.j-cord.gr.jp/> をご参照下さい。  
ああ、また私の胎盤は灰になる...

みずなすび

## 骨髄バンクニュースダイジェスト

(マンスリーレポート 2002/2/18 より)

**患者負担金の改定。医療保険適用の可否等により、3月上旬、最終決定**

2月1日(金)、4月からの患者負担金の改定について事前のお知らせをいたしました(<http://www.jmdp.or.jp/info/news/>)。当財団では、昨年から関係者とともに、国に対し「骨髄バンク事業への医療保険適用」について全力で要望運動に取り組んでおります。しかし、結果については全く楽観視できない状況。来年度の国庫補助金の減額は確定しており、医療保険適用が十分になされなかった場合には、まことに遺憾ではありますが、患者負担金の値上げに踏み切らざるをえない状況です。骨髄バンク事業を着実に進展させ、より多くの患者さんに移植のチャンスをお届けするためには、どうしても必要な運営経費を確保しなくてはならず、4月1日より患者負担金を改定させていただく予定です。なお、3月上旬には医療保険適用の可否、範囲、額が明らかになる予定です。これにより、もし当財団の財源が確保された場合にはそれに見合った改定額の見直しを行ないますので、最終的な改定額や具体的な移行措置などはあらためてお知らせいたします。

**患者さん、ご家族へのアンケート実施。ご理解ご協力をお願いします**

当財団設立10周年にあたり、昨年11月に、骨髄バンクを介して移植を受けられた患者さんと、骨髄提供をされたドナーの方へのアンケートを実施いたしました。このたび、第2弾として、移植をお受けになられたものの残念ながら亡くなられた患者さんのご家族、移植を希望しながらも移植を受けられなかった患者さんとそのご家族を対象にアンケートを実施しております。移植を希望された方で、残念な転帰をとられた患者さんも数多くいらっしゃるのも事実であり、そのご家族の方へアンケートを差し上げることは、大変心苦しいことではあります。しかし、こうした方々の忌憚のないご意見こそが、今後の骨髄バンクの充実と発展のために役立つものと考え、ご協力をお願いした次第です。今回のアンケートは、厚生労働省研究班との共同研究として、今後の骨髄移植医療の改善、発展に役立てる目的で行なわれるものです。アンケート結果は今年度中に解析を行い、厚生労働省へ研究班報告として報告されます。概要は「バンクニュース」や当財団のホームページなどで公表する予定です。

**1月の登録会報告。登録者の過半数376人が庁舎での登録会で**

1月のドナー登録者数は1629人で、取消者数は654人、実質増加数は975人という実績でした。登録会は60回実施され(うち献血併行型54回)、合計744人の方にご登録をいただきました。過半数の376人の方は、庁舎での登録会でした。厚生労働省、農林水産省で3回開催されたのをはじめ、都道府県庁舎、市庁舎、町村役場での登録会は7都道府県(千葉・広島・福岡・北海道・福島・神奈川・東京)で13回開催、16市区町村(宇都宮・徳島・松江・仙台・柏崎・京都・姫路・横浜・西宮・静岡・津山・福山・萩・東京都江戸川区・沖縄県川副町・沖縄県旭村)で計19回開催されました。中央省庁、各行政機関のご理解ご協力に心より感謝申し上げます。都道府県別の登録会の開催数は、東京8回・沖縄7回・福岡5回・広島・徳島4回。新潟・福島・岡山・京都・兵庫・神奈川・宮城・北海道・和歌山・静岡・栃木2回。滋賀・高知・千葉・熊本・愛知・山口・茨城・島根・佐賀・大阪が1回でした。

**移植認定施設空き状況検索システム」を公開しました**

2月14日より財団が認定している移植施設の、患者受入可能時期や病院の移植実績などの情報を調べることができるホームページを公開しました。移植病院決定等のためにぜひご活用ください。ホームページのURLは、<http://www.jmdp.or.jp/pt/>です(メニューの「移植認定施設空き状況」をクリックしてください)。

**唐沢寿明さん呼びかけによるオークション収益金、当財団にご寄付**

NHK大河ドラマ「利家とまつ」で利家役をつとめる俳優 唐沢寿明さんが、所属プロダクション「研音」のタレント仲間へ呼びかけて実現した骨髄バンクチャリティオークションの収益金、約139万円が当財団に寄付されました。新聞で当財団の財政危機を知った唐沢さんの提案で実現したもので、昨年12月3日～16日まで、研音の携帯電話サイトとホームページ上でオークションが実施されました。期間中のアクセス数は2830件。唐沢寿明さんをはじめ、研音のスタッフの皆さま、オークションにご参加いただいた方々に、厚くお礼申し上げます。

**DVDプレーヤー・液晶テレビの貸し出しとCD-ROM配布について**

このたび、ソニー株式会社より骨髄バンクの普及啓発活動に役立ててほしいと、DVDプレーヤー30台、液晶テレビ14台、バッテリー20台が寄贈されました。当財団では、これに伴い登録説明用ビデオ「骨髄提供登録希望者の方へ」のCD-ROM版を制作しました。再生ソフトをダウンロードすることでパソコンでの再生も可能。ビデオ上映設備のない会場や、バスなど狭い会場での登録会開催など活用範囲が広がります。DVDプレーヤー等の貸し出し、CD-ROMの配布については、当財団広報渉外部までお問い合わせください(電話03-3355-5041)。

**「患者さんと主治医のためのパンフレット」改訂版と「10周年記念誌」**

当財団医療委員会編集の「患者さんと主治医のためのパンフレット」改訂版が完成しました。また、昨年発行した10周年誌「日本骨髄バンクのあゆみ」の在庫が若干ありますので、ご希望の方にお送りいたします。両書とも、お申込みは当財団ファックス(03-3355-5090)に、住所、氏名、電話番号、部数を明記のうえお申込みください。なお、財政難のおりから、印刷実費、送料などの経費がかかっておりますので、寄付金の振込用紙を添えさせていただき、記念誌については先着順、お一人2冊までとさせていただきます。

**日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)・骨髄移植希望者登録状況(2002年1月末)**

	全国	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
ドナー登録数	149049	22671	1566	4041	9210	5498	1447	909
移植希望患者登録数	1679	234	15	31	111	47	13	17

心よりのご寄付に感謝申し上げます。

2001 年 12 月 1 日～2002 年 3 月 10 日(敬称略・順不同)

個人

山下節子	8,000 円	酒井啓義	3,000 円	山本あい子	10,000 円
西井幸代	3,000 円	黒木保正	7,000 円	小嶋永子	2,000 円
池田良一	3,000 円	西田龍三	10,000 円	有志一同	730 円
船戸多希子	30,000 円	今西参規子	10,000 円	匿名	3,000 円
松井康守	2,000 円	森本美和子	7,000 円	匿名	1,000 円
遠山孝子	5,000 円	牛尾登美	7,000 円	匿名	2,000 円

団体寄付

国際ソロプチミスト大阪-門真	10,000 円	大阪梅田中央ライオンズクラブ	100,000 円
国際ソロプチミスト枚方-中央	10,000 円	国際ソロプチミスト奈良-あすか	30,000 円

団体賛助会費

白壁美容外科	10,000 円	全印刷局労働組合彦根支部	10,000 円
柏原工務店	10,000 円	土師商友会	10,000 円
両丹日日新聞社	10,000 円	三田南ロータリークラブ	10,000 円
尼崎ライオンズクラブ	10,000 円	国際ソロプチミスト伊丹	10,000 円
舞鶴ライオンズクラブ	10,000 円	豊中央ライオンズクラブ	10,000 円

助成寄付金

(有)ダイワ通販 12 月	46,432 円	(有)ダイワ通販 1 月	34,836 円
(有)ダイワ通販 2 月	29,165 円		

皆様の心よりのご寄付をお待ちしております。

お振込先 大和銀行 本店公務部 普通 3652502 関西骨髄バンク推進協会 事務局  
郵便口座 00970-3-64270 関西骨髄バンク推進協会

啓発物・参考資料のご案内

ビデオ「いのちのボランティア」 30 分

以前あった同タイトルのビデオ(35 分)に、登場する患者さんが 6 年後元気に社会復帰している姿を盛りこんで、使い易い 30 分に編集しなおしたものです。勉強会の資料や学校の授業の教材に如何でしょうか?事務局にて貸出いたしますので、ご希望の方はご一報下さい。

冊子「患者さんと主治医のためのパンフレット 改訂版」

骨髄移植推進財団が発行している冊子で、この 1 月に改訂されました。データはより新しく、用語集はより詳しくなっています。送料+ の負担(カンパ)で送ってもらえるようです。ご希望の方は財団フリーダイヤル(0120-445-445)へお問い合わせ下さい。

各会ではボランティアを募集しております

* 骨髄バンクを応援するさかい	TEL&FAX:072-273-0992
* 骨髄献血の和を広げる会	TEL&FAX:0773-27-7693
* 大阪骨髄献血の和を広げる会	TEL&FAX:06-6349-2002
* 和歌山骨髄献血の和を広げる会	TEL&FAX:073-451-9528
* 滋賀骨髄献血の和を広げる会	TEL&FAX:0748-83-0259
* 奈良造血幹細胞移植を支援する会	TEL&FAX:0743-57-8050

関西骨髄バンク推進協会

〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター第三部長室内

TEL&FAX 06-6977-2123

E-mail:kankyo@mtc.biglobe.ne.jp